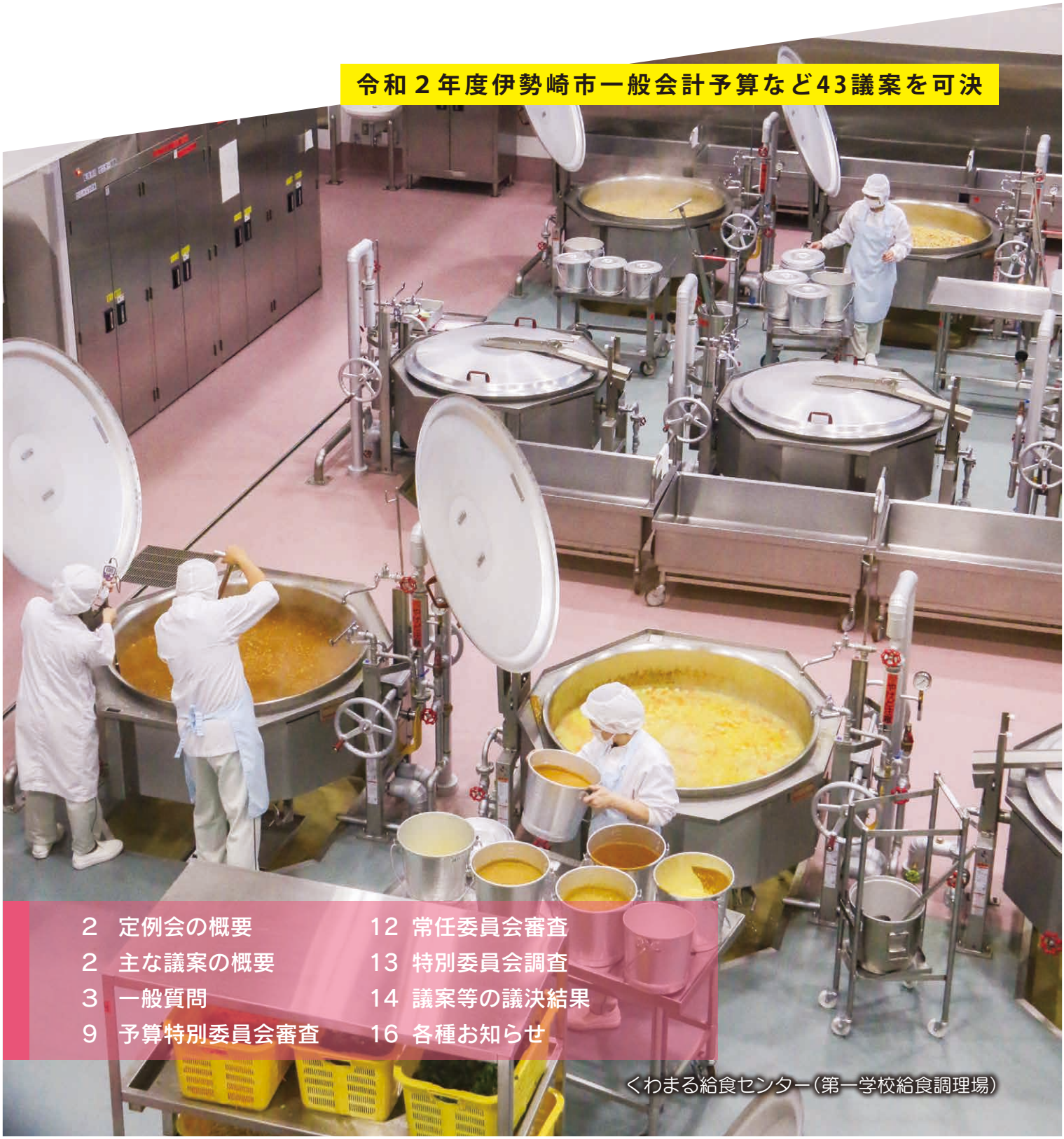
市議会 いせさき

＼ 伊勢崎のさきがわかる ／

第1回定例会
No.76

2020.4.1

令和２年度伊勢崎市一般会計予算など43議案を可決



くわまる給食センター（第一学校給食調理場）

2　定例会の概要
2　主な議案の概要
3　一般質問
9　予算特別委員会審査
12　常任委員会審査
13　特別委員会調査
14　議案等の議決結果
16　各種お知らせ

第1回

定例会の概要

2月20日～3月19日

市長から提出された議案　42件

□新年度予算　11件
□補正予算　10件
□条例関係　11件
□人事案件　6件
□その他　4件

議員から提出された議案　1件

●2月20日　本会議

・会期決定（3月19日までの29日間）
・会議録署名議員の指名
・市長提出議案（令和元年度伊勢崎市一般会計補正予算（第6号）など10件）の提案理由の説明
・議案の審議（結果は14ページに記載しています）
・市長提出議案（伊勢崎市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例案など26件）の提案理由の説明

●2月26日　本会議

・令和2年度一般会計予算議案に対しての質疑
・予算特別委員会を設置
・予算特別委員会に議案の審査を付託
・予算特別委員会の委員を選任
・令和2年度一般会計予算以外の議案25件に対しての質疑
・所管の常任委員会に議案等の審査を付託

予算特別委員会

・委員長、副委員長の互選

●2月27日　本会議

一般質問（質問者…議員7人・答弁者…市長、教育長及び所管の部長）

●2月28日　本会議

一般質問（質問者…議員6人・答弁者…市長、教育長及び所管の部長）

●3月4日・5日　予算特別委員会

・議案の審査　1件

●3月9日　総務委員会

・議案の審査　5件
・請願の審査　1件
・所管事務調査

●3月10日　文教福祉委員会

・議案の審査　6件
・所管事務調査

●3月11日　経済市民委員会

・議案の審査　6件
・請願の審査　2件
・所管事務調査

●3月12日　建設水道委員会

・議案の審査　8件
・所管事務調査

●3月19日　本会議

・予算特別委員会の委員長から審査結果の報告
・常任委員会の委員長から審査結果の報告
・市長提出議案（教育長任命の同意についてなど6件）の提案理由の説明
・議員提出議案（伊勢崎市議会委員会条例の一部を改正する条例案1件）を上程
・議案等の審議（結果は14・15ページに記載しています）

主な議案の概要

伊勢崎市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例案

機能別消防団員の導入に伴い、改正の必要を認めたものです。

消防団

伊勢崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案

国民健康保険事業費納付金の納付に要する費用を確保するため、県から示された標準保険料率を参考として、一定の激変緩和を講じた上で国民健康保険税基礎課税額等をそれぞれ改定し、及び減免規定の整備をすることに伴い、改正の必要を認めたものです。

伊勢崎市児童遊園条例の一部を改正する条例案

上之宮児童遊園を消防団第1方面隊第11分団詰所の移転先とするため、当該児童遊園を廃止することに伴い、改正の必要を認めたものです。

伊勢崎市営住宅管理条例の一部を改正する条例案

市営住宅の入居者資格及び入居手続並びに入居者の費用負担を見直すこと並びに関係法令の一部改正に伴い、改正の必要を認めたものです。

伊勢崎市定住自立圏形成方針の変更について

本市における定住自立圏構想を推進するに当たり、令和2年度からスタートする第2次伊勢崎市総合計画後期基本計画との整合を図るとともに、連携する具体的事項に変更の必要を認めたものです。

総合計画と定住自立圏形成方針

公の施設の指定管理者の指定について

●施設　伊勢崎市老人いこいの家
●指定管理者　社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会
●指定期間　令和2年4月1日から令和7年3月31日まで

問 分団が担当する区域を見直す考えは
答 皆様からの御意見を伺い検討していきます

伊勢崎クラブ
野田文雄

消防団について

問　分団が担当する区域の現況は。

答　各分団が担当する区域は、平成17年の市町村合併前の担当区域をそのまま引き継ぎ現在に至っており、行政区を単位として北地区、赤堀地区など地区ごとに担当する分団を定めています。

基本的には、1つの分団が地区の枠組みを越えて行政区を担当することはありませんが、例外として、第2方面隊第6分団において、南地区及び茂呂地区の一部の行政区を担当しています。

消防団は地域に密着し、連携して消防防災活動を行うもので、分団の担当区域については、地域とのつながりの中、長い歴史を経て現在の形になっているものと認識しています。

問　行政、学校、消防の区域が一つになるような担当区域の見直しの考えは。

答　地区を越えて担当区域が定められていることにより、災害や地域行事への対応が複雑になっている状況が確認された場合は、担当区域の見直しも必要なことと考えます。しかしながら、これまで長く担当している区域の変更については、様々な影響や課題も考えられますことから、行政役員や団員の皆様からの御意見を丁寧に伺いながら、今後検討していきます。

東京オリンピックにおける聖火リレーに対する本市の取組について

問　走路を含めた聖火リレーの概要は。

答　聖火リレーは、3月26日に福島県を出発し、121日間をかけて全国47都道府県を巡り、7月24日の開会式当日に、最終ランナーによってメインスタジアムの聖火台に点火されます。

本市では、3月31日午後5時頃、伊勢崎駅南口ロータリーを出発し、いせさき明治館を経由して新伊勢崎駅まで10人のランナーが聖火をつなぎます。

問　市民への周知は。

答　聖火リレールートマップを回覧するとともに、市の広報紙やホームページ、SNS等を活用して周知し、多くの市民の皆様とともに、聖火リレーを盛り上げていきたいと考えています。

第2方面隊第6分団詰所

問 旧あずま調理場跡地を駐車場にする計画は
答 安全が確保できる方法で検討していきます

伊勢崎クラブ
定方英一

学校給食調理場について

問　昨年から新たに第一学校給食調理場が業務を開始したが、運営の状況は。

答　調理員の配置人数は、第一東学校給食調理場及び第一西学校給食調理場ともに、それぞれ労務技士12人、臨時職員25人です。

配送は、第一東学校給食調理場が約5300食を配送車4台で配送し、第一西学校給食調理場が約5700食を配送車6台で配送しています。稼働開始直後は、調理機器の操作等が不慣れで、配送車の学校への到着予定時刻に若干遅れもありましたが、給食時間に遅れることはありませんでした。

また、稼働開始直後の昨年8月から9月までは、予定時刻に洗浄作業が終わらず、臨時職員が残業となってしまうこともありましたが、調理員会議を重ねて作業の見直しを図り、10月以降は予定時刻どおりに終了できるようになったほか、異物混入の発生もなく、おおむね順調に運営しています。

問　地産地消の現状は。

答　米飯を除いた市内産食材の重量ベースの割合は、平成30年度2学期のあずま学校給食調理場が31・7%、令和元年度2学期の第一学校給食調理場の割合が29・4%です。

問　あずま小学校の学校行事等では、駐車場がなく、近隣に迷惑をかけている現状だが、小学校裏の旧あずま調理場跡地を駐車場として利用する計画は。

答　旧あずま調理場は、現在、建物等の解体工事を行っており、令和元年度中に終了する予定です。工事終了後の跡地については、解体工事を進める中で、過去の重油漏れが分かったため、工事終了後に念のため土壌等の調査を行い、状況を確認した上で改めて利用方法を検討していきます。

なお、近隣施設の駐車場利用については、利用者や児童の安全が確保できる方法で検討していきます。

その他の質問

●まち・ひと・しごと創生総合戦略について
●市民プールについて

あずま小学校北側の調理場跡地

問 二つの史跡の保存の考えは

答 現状での保存を継続し後世に残していきます

伊勢崎クラブ
鈴木良尚

毒島城跡及び赤堀茶臼山古墳の活用について

問　史跡の近くでは、国道50号前橋笠懸道路が築造予定で用地買収が進んでいるが、二つの史跡の現況は。

答　赤堀今井町二丁目にある毒島城跡と赤堀茶臼山古墳は、平成16年に旧赤堀町の史跡に指定され、現在、市指定史跡として保護されています。

　毒島城跡は、中世の城跡で、周囲を水田に囲まれ、形状は直径約150メートルの円錐台形をしています。赤堀茶臼山古墳は、5世紀中頃に築造された全長59メートルの前方後円墳で、古墳時代の豪族の建物や埴輪祭祀を知る上で重要な資料である家形埴輪が出土しています。

　いずれも史跡に指定しているので、開発が制限されています。

問　私達には、先祖が残した歴史や文化を後世に伝えていく責務があると思うが、保存の考えは。

答　二つの史跡はいずれも民有地であり、日常の管理については毒島城跡が個人、赤堀茶臼山古墳が保存会によって行われています。

　今後も地権者の皆様に御協力いただき、現状での保存を継続し、後世に残していきたいと考えています。

問　保存に役立つ整備など今後の方針は。

答　説明板の改修や案内標識の設置及び改修などの周辺整備を行い、将来的には、他の指定史跡も含めて、より良い整備について関連部署と連携し、調査研究を行っていきます。

伊勢崎市民病院について

問　次世代につなぐ持続可能な病院とするために投資をしていると思うが、今後の計画は。

答　令和2年度の主な設備、医療機器の導入計画は、伊勢崎市民病院救急センター整備事業、伊勢崎市民病院飲用浄水設備増設事業及び医療用画像管理システムの更新を計画しています。

その他の質問

●公共施設について

赤堀茶臼山古墳

問 避難所開設キットの導入の考えは

答 配備を検討していきます

公明党
手島良市

防災対策について

問　防災アプリ「ツナガル＋（プラス）」を導入する考えは。

答　このアプリは、災害時において、指定外避難所に避難した方からの本市への情報提供や避難所にいなくても本市からの支援情報を入手できるなど、避難者と本市との双方向で情報のやり取りが可能な情報共有に優れたアプリであると認識しています。現在、災害時にSNSを利用して情報の共有ができるアプリが次々に開発されている状況であり、有効性や利便性などを含めて導入について研究していきます。

問　避難所担当職員以外の職員や避難者によるスムーズな避難所の開設、また、地域住民も力を合わせて避難所を運営していくという意識を高めるためにも、避難所開設キットの導入は有効であると考えるが、市長の見解は。

答　発災当初においては、混乱や人員不足等も想定される中、迅速に避難所開設を図るため、手順を明確化した避難所開設キットの仕組みは、有効であると認識しています。現在見直しを行っている避難所運営マニュアルにキットの内容を加えるとともに、各避難所の運営に必要な備品類を入れたボックス内への配備を検討していきます。

小学生の通学用かばんについて

問　ランドセルでの登校は、各小学校で規則として定められたものなのか。

答　通学用かばんについて、本市としての規則等はありませんが、ランドセルを用いるよう独自に規定している学校は、4校です。なお、色などの決まりはありません。

問　本市として、適切な小学校の通学用かばんについての考えは。

答　通学用かばんは、安全性や機能性を重視し、具体的には、登下校中に両手を自由にでき、転倒時に背中の衝撃を和らげることができる背負い式が適していると考えています。さらに、教科書やノートの形を崩さずに持ち運べる機能を有した直方体型のかばんが適切であると考えています。

安全で機能的な通学用かばんを

問 所歌を導入する考えは

答 導入の機会や必要性を研究していきます

伊勢崎クラブ
新藤　靖

公立保育所の所歌について

問　所歌は、子供たちや保護者、地域の方々にとって思い出の歌になると考えるが、公立保育所において、これまで所歌を導入していなかった経緯は。

答　公立保育所では、これまでも季節や行事に合わせて児童みんなで合唱し、歌の楽しさを共感することで、保育所に愛着が持てるよう歌の選択を行い、保育に取り入れています。

　これまで所歌を導入していなかった経緯については定かでありませんが、歌はリズム感を養うとともに、想像性や一体感を育むことができる貴重な表現活動であると認識しています。

問　所歌を導入する考えは。

答　所歌が必要かどうかについては、今までそういう考えもありませんでしたので、保護者や地域の皆様の御意見を伺いながら、所歌の導入の機会や必要性について研究していきます。

小中学校の給食時におけるナイフ及びフォークの使用について

問　マナー教育は、年齢が低ければ低いほど習慣が影響し重要と考えるが、テーブルマナーの取組状況は。

答　市内小中学校の中には、食に関する指導の一環として、家庭科の授業において、児童生徒がナイフとフォークを使ったテーブルマナーを学習している学校があります。

　また、修学旅行の前には、児童生徒がナイフとフォークを使用したテーブルマナーを学び、宿泊先のホテルにおいて実際に体験している学校があります。

問　給食時にナイフ及びフォークを使用する考えは。

答　テーブルマナーについては、学習指導要領には指導内容としては位置づけられていませんが、学校教育活動の中で実施できる可能性について、調査研究していきます。

その他の質問

●コミュニティバスあおぞらにおける停留所ついて

公立保育所に所歌の導入を

問 無電柱化の今後の展望は

答 国や県と連携し推進に取り組みます

伊勢崎クラブ
宮田芳典

無電柱化について

問　計画を含めた現状は。

答　本市の無電柱化は、主に市街地を通過する国道、県道及び市道の合計で延長8・04キロメートルが整備済みとなっています。無電柱化計画路線は、群馬県無電柱化推進計画2019に基づき、第一次緊急輸送道路などに指定されている国道、県道及び市道が位置づけられており、市内の計画路線延長は、国道が3路線で11・14キロメートル、県道が5路線で7・25キロメートル、市道が13路線で5・17キロメートルです。

問　今後の無電柱化に向けた展望は。

答　令和2年度からの事業化を予定している都市計画道路3・4・44号駅南東西通り、駅西工区など伊勢崎駅周辺地区の都市計画道路、第一次防災拠点である伊勢崎市民病院と主要地方道前橋館林線を接続する市道などにおいて、計画的な整備に取り組んでいきます。

　今後については、国や県との連携をはじめ、多様な事業手法の導入等も視野に入れながら、県の計画に位置づけられた路線の無電柱化の推進に取り組んでいきます。

保健センターについて

問　新施設を計画する中で、民間活力を導入し官民連携による複合施設とする考えは。

答　将来的には、健康管理センター、あずま保健センター及び境保健センターを統合し、健康づくりの拠点として新保健センターの整備を進め、比較的新しい赤堀保健福祉センターとの2館体制で保健事業を実施していきたいと考えています。建設するに当たり官民連携による複合施設とすることについては、保健センターは、乳幼児を連れた利用者が多いことや、業務の性質上極めて重要な個人情報を取り扱うことなどから、利用者の安全性等を考慮し、現時点では考えていません。

その他の質問

●農産物及び商工業製品等の販路拡大について

無電柱化された都市計画道路

問 男井戸川河川改修の今後の見通しは

答 県の計画では令和7年度完成予定です

伊勢崎クラブ
大木　光

男井戸川の河川改修及び周辺整備について

問　本改修による、殖蓮1号公園の樹木や遊具、トイレ等の撤去等の予定は。

答　公園を利用する皆様がトイレを使用できない期間が生じないように、公園北側市道に面した出入口西側に洋式の水洗トイレを本年5月から7月頃にかけて設置します。その後、河川改修工事に支障となる樹木や遊具、トイレ等の公園施設の撤去やブランコ等の再設置を本年9月末までに順次行っていく予定です。河川用地と公園用地の境界付近については、河川改修工事完了後に、外柵等の一部の公園施設を再整備する計画で進めています。

問　工事期間について今後の見通しは。

答　完成予定年度は、県が平成30年に策定した、「はばたけ群馬・県土整備プラン」にて令和7年度とあり、令和2年度以降の事業は、引き続き上流に位置する上諏訪町地内の改修工事を実施し、用地の調査及び買収、設計等を順次実施していく予定と伺っています。

問　殖蓮第二小学校北側にある親水施設を**ビオトープ**等の学習材として利活用する考えは。

答　本市としては、現時点で親水施設を利活用していく考えはありませんが、今後、必要性や安全性を考慮の上、利活用の方法を調査研究していきます。

殖蓮第二小学校北側の親水施設

問　学校での親水施設の利活用について考え、判断を行っていくのは、学校長それとも教育委員会か。

答　学習指導要領により、学校教育活動の中心的な方針等については示されていますが、その具体的な展開は全て校長の責任の下で行われます。

市教育委員会は、地域の皆さんの協力を得ながら検討するのが大事だと考えているところです。

その他の質問

- 一灯点滅式信号機の撤去に伴う安全対策について
- 北部環状線について
- プログラミング教育について

問 国民健康保険証と高齢受給者証の一体化は

答 実施に向けた調整を進めています

伊勢崎クラブ
栗原真耶

医療機関での市民の利便性向上について

問　カードサイズの国民健康保険証とはがきサイズの高齢受給者証をカードサイズの1枚に一体化して、利用者の利便性を図る考えは。

答　国民健康保険証と高齢受給者証の一体的なカード化については、平成30年度から新たに共同保険者となった県を中心として、各市町村の事務処理の標準化を進めており、県全体で足並みを揃えて取り組む事業として実施に向けた調整を進めているところです。

問　福祉医療費受給資格者証を携帯しやすいカードサイズにする考えは。

答　本市では、はがきサイズの受給資格者証を採用しており、受給資格者の方の中には、一回り大きい母子健康手帳やお薬手帳と併せて携行している方も多く見受けられます。また、県内他市でも、カードサイズを採用している自治体はありません。

当面、カード化を実施する予定はありませんが、今後は他市の状況を見ながら、調査研究していきます。

公用車について

問　庁用バスの稼働状況は。

答　平成30年度の稼働状況は、繁忙期の10月と11月の月平均回数が、中型バス24回、マイクロバス6回です。

使用用途は、市民福祉協力団体、市議会議員、市行政協力団体及び市職員等の会議や研修及び視察等で、小学校3年生を対象とした機織り体験教室の送迎などにも使用しています。

問　スポーツや文化活動を支援するため市民団体への庁用バスの貸出しは。

答　伊勢崎市庁用バス管理規則及び伊勢崎市庁用バス使用内規で定められた使用用途で運行しているため、市民の皆様への貸出しは行っていません。

その他の質問

- 公共施設予約システムの導入について
- 境島村地区の蚕種製造農家群について

カード化で利便性の向上を

用語解説　**ビオトープ**　本来その地域にすむ様々な野生生物が生息することができる空間。

問 災害支援型の自動販売機の設置の考えは

答 設置業者と協議して切替えを図っていきます

公明党
田部井美晴

災害時における支援の拡充について

問　災害時の飲料供給を目的として、災害支援型自動販売機を避難所へ設置する必要があると考えるが市の考えは。

答　災害発生による断水により、避難所にいる避難者へ飲料水を提供することが困難である場合、災害支援型自動販売機により飲料水を提供できることは、大変有効であると考えています。

現在、災害時における自動販売機内の飲料水供給に関する協力協定を7社と締結しており、指定避難所及び本庁舎等の自主避難所36施設の自動販売機のうち、11施設の24台は災害支援型自動販売機です。

今後は指定避難所施設の自動販売機について、設置業者との協議により災害支援型への切替えを図っていきます。

問　災害時に住民の安全確保や復旧活動の円滑化を図る用地を確保できるよう防災協力農地登録制度導入の考えは。

答　現在指定する避難所及び避難場所の受入れ可能人数が本市の人口を上回っており、避難場所を確保する緊急性はないため、制度の導入をしていませんが、今後は他市の動向を踏まえ、調査研究していきます。

田島弥平旧宅について

問　伊勢崎駅や市役所、坂東大橋などから田島弥平旧宅までの間に案内看板が少ないが、設置の現状は。

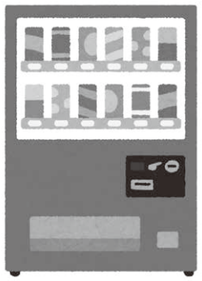
答　案内看板は、市外から来訪される皆様を田島弥平旧宅に誘導するため、本市及び県が設置しました。現在、境島村地区、境平塚地区、太田市、本庄市及び深谷市に合計26か所、国道や県道等の幹線道路に設置しています。

問　案内看板を増やすことで宣伝効果も高まると考えるが、今後の考えは。

答　案内看板の増設等については、必要に応じて関係機関等と協議を行っていきます。

その他の質問

- 校庭の芝生化について
- 境中心市街地及び旧日光例幣使道の景観保存について



避難所に災害支援型自動販売機設置を

問 高齢者への補聴器購入補助制度導入の考えは

答 国や県及び他市の動向を注視します

日本共産党議員団
北島元雄

加齢による難聴について

問　加齢性難聴は日常生活を不便にし、生活の質を落とすだけでなく、うつや認知症の原因にもなることが指摘され、さらに早めに補聴器をつけてトレーニングをすれば進行を防げるということが明らかになってきている。難聴者がひきこもらずに社会参加できるようどのような対応が取られているのか。

答　難聴が認知症発症の危険因子の一つであるとされていることは認識しています。加齢による難聴は、多くの高齢者に見られる老化現象であると捉えており、本市においては現在、聴覚障害に該当する難聴を除いて特に取組を行っていませんが、悪化の原因として生活習慣病など様々な病的要因があると思いますので、医師の診断のもとでコントロールすることが難聴予防につながると考えています。

現状、**フレイル**予防の取組など様々な取組を行っており、それらを引き続き継続していきたいと考えています。

問　補装具費支給制度では、聴力レベルが70デシベルで40センチ以上離れると会話が理解し得ない、重度の難聴の人だけが補聴器の支給対象だが支給件数は。

答　身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障害者の方に対し、補装具費支給制度により平成30年度に補聴器を支給した実績は86件です。

問　補聴器は平均価格で15万円と高額なので、難聴の進行を抑え高齢者の社会参加を促す意味でも、補聴器を必要な人が安心してつけられるように、子供の補聴器購入に続いて高齢者にも補聴器購入補助制度を検討すべきと思うが市の考えは。

答　加齢による補聴器購入に対する補助制度については、全国的に実施例も少なく、当面は導入する考えはありませんが、国、県及び他市の動向について注視していきます。

その他の質問

- 人権対策事業について
- 地域医療構想について

加齢による難聴への取組は

用語解説　**フレイル**　加齢とともに筋力や認知機能などが低下し、生活機能に支障をきたして要介護になる可能性がある状態。なお、早期に介入・支援を受けることで元に戻る可能性もある。

問 あずま支所のあるべき姿は
答 地域行政サービスの拠点と考えています

平成クラブ
田村幸一

公共施設について

問　これからのあずま支所のあるべき姿についての考えは。

答　あずま支所は、公務の執行及び運営に欠くことができない施設として約40年間にわたり使用しており、引き続き東地区の地域行政サービスの拠点として使用していきたいと考えています。

問　あずま支所の工事内容及び外付けのエレベーター設置の考えは。

答　令和2年度の工事については、耐震補強工事及び空調設備改修工事を行う予定です。エレベーターの設置については、今後の需要等を踏まえて検討していきます。

問　伊勢崎市民プールは、施設の老朽化及び地盤が軟弱なため今後は使用しない旨を発表したが、50メートル槽プールを含めた移転等の再建計画は。

答　これまで50メートル槽プールは、市民水泳大会や伊勢崎市及び佐波郡玉村町の小学校体育研究会主催の水泳教室記録会、伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟主催の水泳競技大会で利用されてきました。今後の50メートル槽プールの在り方については、各大会の開催状況及び費用対効果等を勘案し、関係団体等の御意見を伺いながら方針を検討していきます。

問　20万都市として他市に誇れるような長水路の50メートル屋内プールを計画する考えは。

答　水泳競技を行う上で50メートル槽プールが非常に重要であることは理解していますが、プール施設は膨大な費用がかかるので、必要性を検討してみたいと考えています。

問　新たな図書館建設の考えは。

答　時代の要請を見極めながら皆様に愛される図書館となるよう市民の皆様から御意見を賜り、関係部署と連携を図りながら進めていきます。

あずま支所

その他の質問

●オートレース事業について

●都市計画道路の見直しについて

問 夜間中学設置について県との連携は
答 県内設置に向けて情報共有を図ります

有志会
堀地和子

夜間中学の設置について

問　夜間中学設置の取組は、多文化共生に対する教育への理解がある本市では、持続可能な共生社会形成にも有効な手段だと思うが、必要性の認識は。

答　本市では、令和元年度から県が中心となって立ち上げた、夜間中学に係る「外国人の子供等の就学に関する検討会」に参加し、多様な学習機会の確保という観点から、不就学への対応や夜間中学の必要性について、関係自治体とともに県全体で取り組んでいるところです。

問　本市における開設の条件は。

答　既存の中学を利用した開設は、夜間中学専門の教職員の配置が必要になります。さらに外国籍等の方が対象となるケースが多いと考えられ、母国語の通訳や支援員など、多くの協力者が必要となります。

　また、本市以外から通学して来る方々を想定すると、駅から近い立地条件や通学に関わる公共交通の充実も求められます。さらに夜間ということで、安全面での配慮も必要となります。

問　開設の条件に伴う課題は。

答　令和2年度に県が実施する夜間中学の需要調査が大変有効であり、対象となる方に対する夜間中学設置の必要性や就学する意思の有無など、しっかりと分析していく必要があると考えています。さらに、新たな教員の配置をはじめ、多言語の通訳、支援員等の確保や安全対策など、多くの課題が想定されます。

問　県との連携は。

答　設置については、外国籍住民が多い地域だけで検討するのではなく、県全体で取り組むべき大きな課題であると考えています。今後も県主催の検討会議等の中で情報共有を図り、県内設置に向けて調査研究に努めていきます。

本市に夜間中学の設置を

その他の質問

●群馬デスティネーションキャンペーンをきっかけとした取組について

●男女共同参画推進について

問 米飯給食の回数を増やしていく考えは
答 バランスを考慮し給食を提供していきます

翠晴クラブ
小暮笑鯉子

学校給食について

問　第一東学校給食調理場及び第一西学校給食調理場の市の評価は。

答　稼働当初は職員が調理機器の操作等に不慣れなため、戸惑うこともありましたが、現在はおおむね順調に稼働しています。

　また、子供たちへのアンケートを通じて嗜好調査を実施し、その結果を献立作成の参考にしています。

問　米飯給食の回数は。

答　原則、週2・5回です。

問　他県の給食のパンから除草剤の成分が検出され、その成分は、がんや神経発達障害、先天性欠損症との関連が疑われており、本市のパンの安全性が心配だが、原料である小麦粉の産地と**ポストハーベスト**に対する考えは。

答　学校給食のパン等で使用している小麦粉は、県内産のほかアメリカやカナダから輸入したものです。

　輸入小麦粉は、農林水産省が輸入し、農林水産省及び厚生労働省が実施する検査に合格したものであり、食品衛生法の基準に適合した小麦粉であると認識しています。

問　私が223人の子供に行ったアンケートでは、63・5%が米飯給食の回数を増やしてほしいと、特に県大会で活躍している中学生のほとんどはそのように望んでいた。安心安全な給食を提供するために、伊勢崎市産の米を使った米飯給食の回数を増やしていくことが必要だと思うが、今後の方針は。

答　本市では児童生徒が伝統行事や郷土に関心を持てる料理や世界の料理、市内産食材にこだわった伊勢崎づくしの日など、御飯、パン、麺類それぞれの良さを生かした献立で給食を提供しています。

　今後も全体のバランスを考慮しながら、給食を提供していきます。

その他の質問

●地域と一体になった教育行政について

●児童虐待防止について

米飯給食の拡大を

予算特別委員会審査

本会議で予算特別委員会に付託された議案について慎重に審査を行いました。主な質疑及び結果概要は次のとおりです。

一般会計　歳入

市税

問　市民税における法人市民税の減額理由について

答　均等割は令和元年度調定額の対前年度伸び率、法人数の微増傾向の実績を踏まえて、対前年度比0・3%増の7億1828万2000円を見込み、法人税割は税率改正の影響を考慮して、対前年度比19・7%減の14億6780万3000円を見込んだ結果、均等割では188万2000円の増額となったものの、法人税割が3億6079万7000円の減額となったためです。

問　市たばこ税の減額理由について

答　受動喫煙防止対策の促進や令和2年10月からの税率改正による販売価格改定が想定されるなど、愛煙家のたばこ離れは避けられない状況にあることから、たばこの売渡本数を対前年度比10%減として、対前年度比3・4%減の14億6622万7000円を見込んだものです。

分担金及び負担金

問　民生費負担金の減額理由について

答　主な理由として、令和元年10月から開始された幼児教育・保育の無償化に伴い、3歳から5歳の小学校就学前までの児童及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の児童について、幼稚園、認定こども園及び認可保育所の利用料が無償となったことにより、公立分で4193万2000円、私立分で3億3287万2000円の減額をそれぞれ見込んだものです。

問　こども発達支援センター事業利用者負担金及び公費負担金の減額理由について

答　こども発達支援センターの事業再編に伴い、障害児福祉サービスの事業である児童発達支援事業、保育所等訪問支援事業及び日帰り短期事業を民間に移管することにより、利用者負担金で49万8000円、公費負担金で2794万3000円の減額をそれぞれ見込んだものです。

こども発達支援センター

国庫支出金

問　母子保健医療対策総合支援事業補

用語解説　**ポストハーベスト**　収穫されたあとの農作物に使われる農薬。農作物の長期保管や輸送の際のカビの発生、腐敗などの防止に使われている。

助金の増額理由について

答 新年度から開始する産婦健康診査事業費に補助率2分の1を乗じた400万円を増額し、462万4000円を見込んだものです。

問 緊急消防援助隊設備整備費補助金の対象事業について

答 緊急援助隊の設備整備に要した経費に対し交付されるものであり、令和2年度においては、北分署に水槽付消防ポンプ自動車、南分署に救急車の配備を計画しています。

問 消防団設備整備費補助金の内容について

答 風水害や地震などの災害時における消防団の救助活動を充実させるため、消防団への配備が進んでいない救助資機材整備の促進を目的に、事業費の3分の1が交付されるもので、伊勢崎第2方面隊、赤堀方面隊及び東方面隊へ配備するエンジンカッター、チェーンソー、油圧救助切断機を各3台購入しようとするものです。

エンジンカッター

諸収入

問 小型自動車競走事業収入の増額理由について

答 近年、事業収入が好調であり経営状況も安定していることや平成30年度決算において生じた実質収支のうち、小型自動車競走事業運営基金へ3億6000万円を積み立て、経営上影響のない範囲の1億円を一般会計に繰り入れようとするためです。

伊勢崎オートレース場

問 自治総合センターコミュニティ助成金の充当事業について

答 行政区における会議所整備及び祭りに係る備品整備として地域行政対策事業費に対し500万円、防火・防災訓練用資機材の整備に係る水消火器の購入として非常備消防対策事業に60万円充当しようとするものです。

一般会計 歳出

総務費

問 コミュニティバス路線増設の内容について

答 境町駅から島村蚕のふるさと公園までの1系統及び境町駅から境郵便局、下武士消防コミュニティセンター、川向団地及び小此木地域などを経由する1系統の、1路線2系統を増設し、ワゴン車により、令和3年2月頃から運行を開始する予定です。

コミュニティバスあおぞら

衛生費

問 がん検診委託料における検診の内訳について

答 胃がん検診1万2390人分、大腸がん検診1万3120人分、子宮頸がん検診9770人分、乳がん検診4140人分、前立腺がん検診1万480人分及び女性の胃、大腸、子宮、乳がんをまとめて検診する総合がん検診2700人分の検診を委託する予定です。

農林水産業費

問 野菜王国・ぐんま総合対策事業費補助金の増額理由について

答 当該事業の補助希望者が12人から17人に増加したためです。

商工費

問 企業立地促進奨励金の増額理由について

答 交付対象が11社から、宮郷工業団地において操業開始する予定の6社を含め18社に増加するためです。

予算特別委員会

予算特別委員会名簿（◎委員長・○副委員長）

◎吉山 勇　○宮田芳典　伊藤純子
内田 彰　大木 光　北島元雄
栗原真耶　小暮笑鯉子　定方英一
佐藤智則　新藤 靖　鈴木良尚
須永 聡　高橋宜隆　田島 勉
多田 稔　田部井美晴　田村幸一
手島良市　長沼宏泰　野田文雄
長谷田公子　原田和行　藤生浩二
細谷泰治　堀地和子　馬庭充裕
森田 修

土木費

問 密集住宅市街地整備促進事業、駅周辺第一土地区画整理事業及び駅周辺第二土地区画整理事業の、令和2年度末における総事業費に対する事業進捗率の見込みについて

答 密集住宅市街地整備促進事業39・8%、駅周辺第一土地区画整理事業58%、駅周辺第二土地区画整理事業64・6%をそれぞれ見込んでいます。

消防費

問 設計等業務委託料における委託業務内容について

答 境消防署建設用地取得に際し、事業認定に必要な資料の作成業務を委託するものです。

教育費

問 小学校空調設備整備事業の内容について

答 北小学校北棟1階及び2階全18教室の空調設備工事を行うものです。

問 小学校4年生を対象とした心臓集団検診の開始理由について

答 現在小学校1年生と中学校1年生で実施している検診を小学校4年生でも実施することにより、検診の空白期間を短縮しようとするためです。

審査の結果概要

付託された1議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

令和２年度　各会計当初予算

（単位：千円　%）

区分		令和２年度	令和元年度	増減率
一般会計		74,100,000	75,300,000	△1.6
特別会計	小型自動車競走事業費	17,329,315	15,636,634	10.8
	学校給食センター事業費	2,146,296	2,268,291	△5.4
	国民健康保険	19,440,599	19,873,290	△2.2
	後期高齢者医療	2,327,943	2,242,531	3.8
	介護保険	17,028,058	16,610,807	2.5
	下水道事業費	－	3,456,075	皆減
	農業集落排水事業費	－	587,320	皆減
	特定地域生活排水処理事業費	－	32,262	皆減
企業会計	水道事業	7,069,120	6,677,525	5.9
	公共下水道事業	5,135,448	－	皆増
	農業集落排水事業	797,651	－	皆増
	特定地域生活排水処理事業	32,180	－	皆増
	病院事業	19,327,759	18,383,533	5.1

※企業会計の予算額は、収益的支出額と資本的支出額の合計額です。
※下水道事業費、農業集落排水事業費及び特定地域生活排水処理事業費特別会計は令和２年度から企業会計へ移行します。
※介護老人保健施設事業及び訪問看護事業の予算額は、病院事業の予算額に含まれています。

常任委員会審査

本会議で常任委員会に付託された議案などについて慎重に審査を行いました。主な質疑及び結果概要は次のとおりです。

総務委員会

伊勢崎市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案

問　改正に伴い対象となる職員の有無について

答　今現在は、想定していません。

伊勢崎市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例案

問　基本消防団員と機能別消防団員の違いについて

答　基本消防団員は火災予防や災害時等の出動などの活動全てを行うのに対し、機能別消防団員はその一部である火災予防広報及び応急手当の技術普及等を行うものです。

結果　付託された5議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

文教福祉委員会

伊勢崎市児童遊園条例の一部を改正する条例案

問　上之宮児童遊園を消防団第1方面隊第11分団詰所の移転先とした理由について

答　当該児童遊園は、倭文の郷公園と隣接しており、利便性に大きな影響がないことや、地元消防団詰所が上之宮町区会議所の隣に設置されることにより地域の安全性の向上が図れるものと考えられるためです。

令和2年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計予算

問　給食費収入の減少傾向の理由について

答　令和2年度は小学生が83人、中学生が32人それぞれ減少し、全体的に減少傾向にあるためです。

問　3施設を統合した新学校給食調理場の令和2年度における財政的な削減効果について

答　燃料費及び光熱水費において、約3000万円の減額を見込んでいます。

令和2年度伊勢崎市介護保険特別会計予算

問　令和2年度の介護認定率の見込みについて

答　65歳以上の被保険者5万3242人のうち、1万45人の18・8%を見込んでいます。

問　令和2年度末における基金繰入金残高及び1号被保険者一人当たりの基金額について

答　基金繰入金残高は、12億1549万3000円を想定し、1号被保険者一人当たり2万2830円になります。

令和2年度伊勢崎市病院事業会計予算

問　病院総合情報システム再構築事業（第2期）における内容について

答　来院者が診察状況を確認できる診察案内表示システムの導入、会計時の待ち時間緩和を目的とした自動精算機の導入及び災害時の対応を想定した災害時バックアップシステムを導入するものです。

問　飲用浄水設備増設事業の内容について

答　市民病院が災害拠点病院、地域中核病院としての機能、役割を維持するため、井戸水を飲料用や医療用として使用できる設備を増設するもので、既存設備に膜ろ過装置、水質監視装置及び処理水槽などを整備するものです。

公の施設の指定管理者の指定について

問　伊勢崎市老人いこいの家の指定管理者選定を公募によらない理由について

答　社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会が、独自のノウハウの活用や安定的な人材の確保等により、高齢者等の集いの場、憩いの場を提供していること、利用者への安定した行政サービスの提供及び施設の適切な維持管理、機能保全を行ってきたことなどの長年の実績を踏まえ、同法人に管理させることが合理的かつ適当であることが認められるためです。

結果　付託された6議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

経済市民委員会

伊勢崎市印鑑条例の一部を改正する条例案

問　改正に係る対象について

答　成年被後見人に対し、その意思能力を個別具体的に判断し、成年被後見人においても印鑑登録を可能とするものです。

伊勢崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案

問　被保険者の負担増に係る激変緩和措置について

答　県から示された標準保険料率に対し、医療給付費分は、均等割2109円、後期高齢者支援金等分は、均等割407円、介護納付金分は、所得割0・21%及び均等割960円をそれぞれ減額しています。

令和2年度伊勢崎市国民健康保険特別会計予算

問　特定健康診査委託料の減額理由について

答　特定健康診査の対象者である40歳以上の国民健康保険被保険者数が令和元年度の3万7500人から令和2年度は3万5500人へ減少すると見込んでいることや、特定保健指導については過去の実績をもとに発生率を考慮し、実施者が305人から273人へ減少すると見込んでいるためです。

令和2年度伊勢崎市後期高齢者医療特別会計予算

問　保険料の変化について

答　保険料賦課限度額は62万円から64万円に増額となるが、保険料軽減制度の対象において、基礎控除額の33万円を除いた被保険者当たりの所得判定基準が、5割軽減は28万円から28万5000円に、2割軽減は51万円から52万円にそれぞれ緩和されるものです。

問　保険料軽減制度の対象人数について

答　令和2年度の対象者は、7・75割軽減が6143人、7割軽減が4981人、5割軽減が3762人、被扶養者5割軽減が134人、2割軽減が3021人をそれぞれ見込んでいます。

結果　付託された6議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

建設水道委員会

伊勢崎市営住宅管理条例の一部を改正する条例案

問　入居の際の連帯保証人を不要とすることによる家賃の滞納対策について

答　入居者への電話による生活状況の確認や納付相談並びに徴収猶予や分割納付など早期の対応を講じていきたいと考えています。

令和2年度伊勢崎市水道事業会計予算

問　管路更新率及び布設距離の目標について

答　管路更新率は1・05%で、布設距離は配水管整備事業5・9キロメートル、老朽管更新事業7・6キロメートル、合計13・5キロメートルを予定しています。

令和2年度伊勢崎市公共下水道事業会計予算

問　事業計画区域に対する整備予定率について

答　単独公共下水道事業及び流域関連公共下水道事業の事業認定区域2651・6ヘクタールのうち、1810・4ヘクタール、整備率68・2%を見込んでいます。

令和2年度伊勢崎市特定地域生活排水処理事業会計予算

問　市設置型浄化槽の設置予定について

答　10基を計画しています。

結果　付託された8議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

特別委員会調査

3月19日に世界遺産活用調査特別委員会が開かれ、田島弥平旧宅について調査を行いました。

令和元年度　各会計補正予算

（単位：千円）

区分		補正前の額	補正額	計
一般会計（第6号）		79,776,630	△2,527,154	77,249,476
特別会計等	小型自動車競走事業費（第3号）	17,501,786	941,290	18,443,076
	学校給食センター事業費（第1号）	2,268,291	△36,821	2,231,470
	国民健康保険（第1号）	19,873,290	382,963	20,256,253
	後期高齢者医療（第1号）	2,242,531	79,885	2,322,416
	介護保険（第2号）	17,137,183	△5,284	17,131,899
	下水道事業費（第3号）	3,477,575	△155,945	3,321,630
	農業集落排水事業費（第2号）	587,320	△18,884	568,436
	特定地域生活排水処理事業費（第1号）	32,262	△2,917	29,345
	病院事業（第3号）　収益的	16,122,368	420,000	16,542,368

※病院事業の予算額は、支出予定額を掲載しています。

議案等の議決結果

市長提出議案

●…賛成全会一致　○…賛成多数　×…否決

議案番号	議案名	付託委員会	議決日	結果
1	令和元年度伊勢崎市一般会計補正予算（第６号）	付託なし	2.20	●
2	令和元年度伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計補正予算（第３号）	付託なし	2.20	●
3	令和元年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計補正予算（第１号）	付託なし	2.20	●
4	令和元年度伊勢崎市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	付託なし	2.20	●
5	令和元年度伊勢崎市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	付託なし	2.20	●
6	令和元年度伊勢崎市介護保険特別会計補正予算（第２号）	付託なし	2.20	●
7	令和元年度伊勢崎市下水道事業費特別会計補正予算（第３号）	付託なし	2.20	●
8	令和元年度伊勢崎市農業集落排水事業費特別会計補正予算（第２号）	付託なし	2.20	●
9	令和元年度伊勢崎市特定地域生活排水処理事業費特別会計補正予算（第１号）	付託なし	2.20	●
10	令和元年度伊勢崎市病院事業会計補正予算（第３号）	付託なし	2.20	●
11	伊勢崎市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例案	総務	3.19	●
12	伊勢崎市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案	総務	3.19	●
13	伊勢崎市手数料条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.19	●
14	伊勢崎市印鑑条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.19	●
15	伊勢崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.19	○
16	伊勢崎市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.19	●
17	伊勢崎市児童遊園条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.19	●
18	伊勢崎市小口資金融資促進条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.19	●
19	伊勢崎市道路構造条例の一部を改正する条例案	建設水道	3.19	●
20	伊勢崎市営住宅管理条例の一部を改正する条例案	建設水道	3.19	●
21	伊勢崎市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例案	総務	3.19	●
22	令和２年度伊勢崎市一般会計予算	予算特別	3.19	○
23	令和２年度伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計予算	総務	3.19	○
24	令和２年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計予算	文教福祉	3.19	●
25	令和２年度伊勢崎市国民健康保険特別会計予算	経済市民	3.19	○
26	令和２年度伊勢崎市後期高齢者医療特別会計予算	経済市民	3.19	○
27	令和２年度伊勢崎市介護保険特別会計予算	文教福祉	3.19	○
28	令和２年度伊勢崎市水道事業会計予算	建設水道	3.19	○

市長提出議案

●…賛成全会一致　○…賛成多数　×…否決

議案番号	議案名	付託委員会	議決日	結果
29	令和２年度伊勢崎市公共下水道事業会計予算	建設水道	3.19	●
30	令和２年度伊勢崎市農業集落排水事業会計予算	建設水道	3.19	●
31	令和２年度伊勢崎市特定地域生活排水処理事業会計予算	建設水道	3.19	●
32	令和２年度伊勢崎市病院事業会計予算	文教福祉	3.19	●
33	伊勢崎市定住自立圏形成方針の変更について	総務	3.19	●
34	公の施設の指定管理者の指定について	文教福祉	3.19	●
35	市道路線の廃止について	建設水道	3.19	●
36	市道路線の変更について	建設水道	3.19	●
37	教育長任命の同意について　徳江（とくえ） 基行（もとゆき）（東上之宮町）	付託なし	3.19	●
38	教育委員会委員任命の同意について　野口（のぐち） 裕孝（ひろたか）（小泉町）	付託なし	3.19	●
39	公平委員会委員選任の同意について　谷（たに） 彰良（あきよし）（安堀町）	付託なし	3.19	●
40	固定資産評価審査委員会委員選任の同意について　髙柳（たかやなぎ） 光史（こうじ）（香林町二丁目）	付託なし	3.19	●
41	固定資産評価審査委員会委員選任の同意について　隅谷（すみや） 智（さとし）（境米岡）	付託なし	3.19	●
42	固定資産評価審査委員会委員選任の同意について　上原（うえはら） 好之（よしゆき）（堀口町）	付託なし	3.19	●

議員提出議案

●…賛成全会一致　○…賛成多数　×…否決

議案番号	議案名	議決日	結果
1	伊勢崎市議会委員会条例の一部を改正する条例案	3.19	●

請 願

●…採択　➡…継続審査　×…不採択　－…審査未了

受理番号	件　名	付託委員会	結果
1※	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、日米地位協定の改定を求める意見書提出に関する請願	総務	－
1	年金支給の隔月支給を毎月支給に改める請願	経済市民	×
2	若い人も高齢者も安心できる全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める請願	経済市民	×

※令和元年第５回定例会継続事件

I 陳 情 I
・子どもの共同養育推進に関する陳情（第１号 / 文教福祉委員会へ送付）

I 市長からの報告 I
２月 20 日　和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について（第１号）
　　市営住宅の管理上必要な訴え（和解を含む）の提起についての専決処分の報告について　２件（第２号、第３号）
３月 16 日　和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について　３件（第４号～第６号）

議会ってどんなところ？
シギカイの カイセツ
伊勢崎市議会のことについてわかりやすく解説します。

06 議会の様子を見ることはできるの？

一般に公開していて、議員の活動を間近で見ることができます。
なお、本会議の様子は、市役所東館の市民ホールに設置のテレビ及びインターネット（「伊勢崎市議会インターネット中継」のページ）で生中継も行っています。

●傍聴できる会議　本会議、常任委員会（総務委員会、文教福祉委員会、経済市民委員会、建設水道委員会）、予算特別委員会及び決算特別委員会

※児童及び乳幼児と同伴の傍聴については事前に市議会事務局へお問い合わせください。

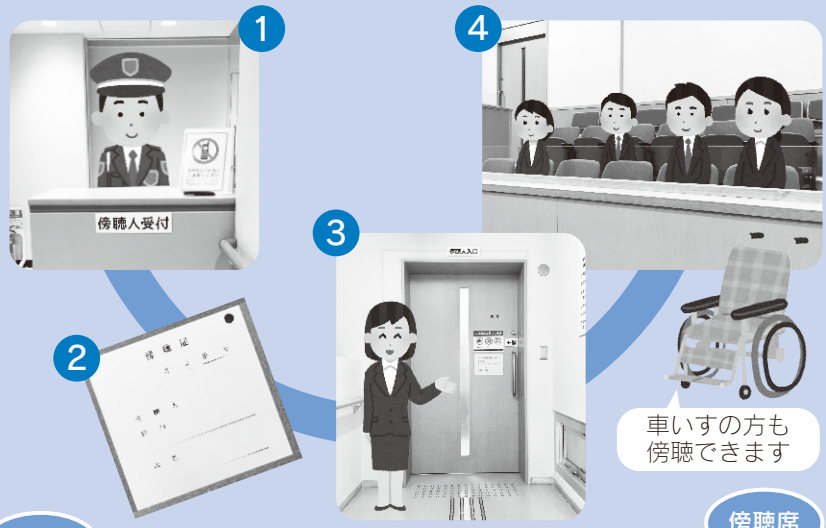
傍聴方法

1.受付
- 午前９時30分受付開始。
- 定員は、本会議54席、委員会10席です。

2.傍聴届の記入
- 受付で傍聴届に住所・氏名を記入し、傍聴券、注意事項、資料を受け取ります。

3.傍聴席へ
- 注意事項を確認して入室。

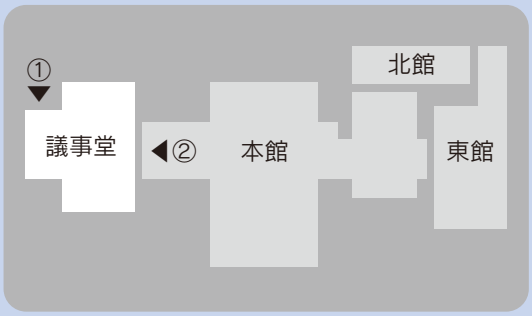
4.傍聴開始



傍聴席から見た議場

議長席から見た議場

市役所案内図



①本会議の傍聴者入口
②委員会の傍聴者入口

次回定例会日程表（予定）

6月 9日	火 本会議
10日	水 本会議（一般質問）
11日	木 本会議（一般質問）
15日	月 総務委員会
16日	火 文教福祉委員会
17日	水 経済市民委員会
18日	木 建設水道委員会
25日	木 本会議

※全て午前10時開会予定です。

マチイロ
スマホアプリ「マチイロ」で市議会いせさきを配信中！
編集発行／伊勢崎市議会広報委員会・伊勢崎市議会事務局
今泉町二丁目410 ☎24-5111㈹
印刷／川島美術印刷株式会社

次号は6月1日の発行を予定しています